

日本家政学会

色彩・意匠学部会報 NO.1

発行日 平成16年10月29日
発行人 日本家政学会色彩・意匠学部会編集発行
事務局 〒151-8523 東京都渋谷区代々木3-22-1
文化女子大学 色彩学研究室内(盛田)
TEL 03-3299-2357
FAX 03-3299-2357

《「平成16年度総会」報告》

平成16年8月26日(木)、旭川グランドホテルにおいて「平成16年度総会」を開催、以下の議事について報告、検討を行い、承認された。

議事

平成15年度事業報告

1. 総会 平成15年8月27日(木)
実践女子大学(本館4階演習室454)
2. 役員会
 - ・平成15年5月25日(日) お茶の水女子大学
 - ・平成15年8月26日(火) 実践女子大学
 - ・平成16年2月28日(土) 家庭クラブ会館
3. 連絡懇談会
平成15年5月25日(日) お茶の水女子大学
4. 第25回夏季セミナー
(被服学関係部会2003年合同セミナー)
期日 平成15年8月26日(火)、27日(水)
実践女子大学
プログラム 26日:
 - ・全体講演I「繊維・ファッション産業と人材育」
IFI ビジネス・スクール 尾原蓉子氏
 - ・講演1)「シルクタンパク質の機能性とナノ構造」
東京農業大学 長島孝行氏
 - 2)「21世紀のモード」
京都造形芸術大学 平川武治氏
 - ・講演1)「ナノテクノロジーと変貌する繊維素材」
東レ繊維研究所 越智隆志氏
 - 2)「企業と戦略」
ベネトン・ジャパン(株) 渡辺教子氏
 - ・講演1)「毛の防縮加工」 大阪府大学 高岸徹氏27日:
 - ・講演1)「高齢者の体温調節機能と衣服」
大阪国際大学 井上芳光氏
 - 2)「ライフスタイルとファッション」
文化出版局 山越典子氏
 - ・講演1)「ユニバーサルデザインを考える」
東洋大学 高橋儀平氏

2)「化粧行動の変化と社会心理」

顔・化粧文化研究所 村澤博人氏
・全体講演II「被服学への期待」

大妻女子大学 梶原莞爾氏
*被服学関係部会2003年合同セミナー終了後 色彩・意匠学部会企画にて 東京高尾「トリックアート美術館見学会」を行う

5. 平成15年度役員構成

部会長: 斎藤祥子 副部会長: 芦澤昌子、加藤雪枝
監事: 吉岡徹、伊藤紀之、
常任委員: 飯塚弘子、井澤尚子、田岡洋子、高野美栄、
橋喬子、玉田真紀、長塚こずえ、橋本令子、
椋梨純枝、盛田真千子、渡辺芳道

平成15年度決算報告・監査報告

平成15年度 決算報告

H15.4.1~H16.3.31

摘要	収入	支出	残高
前年度繰越金	5,596		
部会費	44,000		
預金利息	2		
通信費		17,220	
事務費		6,319	
印刷費		0	
会議費		18,700	
雑費		0	
合計	49,598	42,239	7,359
次年度繰越金			7,359

*夏季セミナープール金として556,130円 支出=0円

以上の報告の通り相違ありません。

平成16年3月31日 監査 高野美栄 印

以上の報告の通り相違ありません。

平成16年3月31日 監査 椋梨純枝 印

平成 16 年度事業計画

1. 総会 平成 16 年 8 月 26 日 (木)
北海道旭川市 旭川グランドホテル
2. 役員会
 - ・平成 16 年 8 月 26 日 (木) 旭川グランドホテル
 - ・平成 17 年 2 月下旬 家庭クラブ会館
3. 企画役員会 (連絡懇談会は日本家政学会全国大会がないため開かず、演習ノート出版等のための企画役員会を開催)
 - ・平成 16 年 5 月 2 日 (日) 新阪急ホテル
 - ・平成 16 年 8 月 26 日 (木) 旭川グランドホテル
 - ・平成 16 年 12 月下旬予定
4. 第 26 回夏季セミナー
平成 16 年 8 月 26 日 (木), 27 日 (金)
旭川グランドホテル
プログラム 26 日: ・役員会
・講演会
『北の街「旭川」の都市景観に見る色彩について』
北海道教育大学旭川校教授 八重樫良二氏
『被服における色彩・意匠学的私の研究』
相山女学園大学教授 加藤雪枝氏
・総会
27 日: ・北海道伝統美術工芸村見学
国際染織美術館, 優佳良織工芸館, 雪の美術館等を解説とともに見学をする
5. 平成 16 年度役員構成
部会長: 斎藤祥子 副部会長: 芦澤昌子、加藤雪枝
監事: 渡辺芳道、飯塚弘子
常任委員: (企画・会報) 橋喬子、井澤尚子
(セミナー) 井澤尚子
(庶務) 田岡洋子、成田巳代子
(会計) 盛田真千子 (*会計責任者は勤務先事務局、会計口座開設) 橋本令子、石原久代 (*会計実務及び発送)
(監査) 長塚こずえ、野澤久美子
(顧問) 吉岡徹、伊藤紀之

平成 16 年度予算

平成 16 年度 予算案 (平成 16 年 3 月 31 日作成)

H16.4.1~H17.3.31

摘要	収入	支出	残高
前年度繰越金	7,359		
部会費	50,000		
預金利息	2		
通信費		25,000	
事務費		6,000	
印刷費		2,000	
会議費		18,000	
雑費		1,000	
合計	57,361	52,000	5,361

平成 16 年度総会議事録

日時 平成 16 年 8 月 26 日 (木) 16:00~17:00

場所 旭川グランドホテル (北海道旭川市)

I. 開会

斎藤部会長より、遠路のご参加ありがとうございます。有意義なセミナーになりますことを願っておりますとの挨拶があった。

II. 議事

1. 報告事項

- ・平成 15 年度事業報告: 別紙 1 の通り盛田委員より報告された。
- ・平成 15 年度会計報告: 別紙 2 の通り橋委員より報告された。
- ・平成 15 年度会計監査報告: 適正に使用されていたと椋梨委員より報告された。
- ・平成 16 年度事業計画: 別紙 3 の通り成田委員より提示され承認された。
- ・平成 16 年度予算案: 別紙 4 の通り橋本委員より提示され承認された。

2. 協議事項

①平成 17 年度 第 27 回夏季セミナーについて

- ・2005 年 8 月末 (期日は未定) に関西で行う。会場は大阪市中央公会堂 (大正建築)。
- ・講師は古川雲雪氏 (伊藤忠、ユニバーサルファッション・デザインのデザイナー) 他 1 名
- ・見学はエイジレスセンター (ATC) を予定している。詳細は後日案内いたしますので、ふるってご参加いただきたいと橋委員より説明があった。

②部会規定および役員について

- ・平成 15 年度に家政学会から規定の見直しを求められた。
- ・規定の見直しは庶務担当で検討し、部会の進行に差しかえる部分について提案され、規定の見直しを行った。
- ・提出後、学会から訂正の指示はない。会報に記載予定。
- ・役員の職務については、役員全員でそれぞれ分担していくことになったと、斎藤部会長より報告があった。

③研究事業 「色彩・意匠学部会 実験・演習実践集」出版計画について

- ・現在の投稿申し込み件数は色彩編 8 件、意匠編 5 件の計 13 件である。また、申し込み締め切り日を 9 月 15 日 (水) まで延長しましたので、申し込みされていない方はふるって参加していただきたい。
- ・原稿 (フロッピーにて提出) の提出締め切り日は 11 月 30 日 (火)、申し込み先: 芦澤昌子先生 青葉学園短大 ashizawa@aoba.ac.jp
- ・カラー化については、1 テーマにつき 1 件のカラー化を予定していると芦澤委員より説明があった。

④国際学術大会 (KSCT/JHCTD) について

国際学術大会実行委員に色彩・意匠学部会から斎藤部

会長が選出され、齋藤部会長から国際学術大会日韓2国間のJoint Conferenceの開催について説明がなされた。

- ・主催は韓国衣類学会と(社)日本家政学会被服学関係部会が共同で開催されることになっているが韓国、日本の2国間のJoint Conferenceをアジアにまで拡大したJoint Conferenceにしたいという韓国からの提案に対して、日本からは、助成金を供出しなくてよいという条件でなら、それでも良いということを高部啓子実行委員会委員長が回答したという報告があった。
- ・開催日は2005年8月15日～21日である。
- ・発表の申し込み締め切りは2004年12月、原稿提出締め切りは2005年2月である。
- ・発表については、口頭発表は英語及び日本語、ポスター発表は英語のみ、要旨集は英文である。その他の詳しい内容は、まだ報告されていない。後日、日本家政学会ホームページで案内が出されると思いますのでご覧ください。ふるって発表参加をされたいと齋藤部会長より説明があった。

※実行委員会より、韓国衣類学会への発表申込み、要旨集原稿提出の締め切りは当初の予定より遅れるとの連絡がはいりました。日本家政学会誌に記載される予定です。参加予定の方は、お見逃しないうお願いいたします。

※研究事業「色彩・意匠学部会 実験・演習実践集」出版計画について

色彩編10人、意匠編7人お申し込みいただきありがとうございました。原稿は11月30日が締め切りです。基本ソフトはWord、またはPower pointも可。フロッピーと打ち出した原稿をご送付下さい。1件に1枚、カラーOKです。図、または写真を指定してください。

〈送付先〉〒154-0017 東京都世田谷区世田谷 3-12-19 青葉学園短期大学 人間生活学科 芦澤昌子 宛。添付ファイルはashizawa@aoba.ac.jpです。

※第27回夏季セミナーは、2005年8月25日(木)、26日(金)大阪市中央公会堂で開催されます。詳細は後日お知らせいたします。

III. 閉会

長塚委員より遠路の夏季セミナー参加のお礼とともに、この夏季セミナーの実行委員長をしていただきました齋藤部会長の労に感謝しますとの挨拶があった。

《 第26回 夏季セミナー報告 》

平成16年度日本家政学会色彩・意匠学部会総会、第26回夏季セミナーが、平成16年8月26日(木)、27日(金)の2日間にわたり北海道旭川市で開催された。26日は、北海道旭川グランドホテルにおいて役員会、講演ならびに総会、27日は、北海道伝統美術工芸村内の国際染織美術館、優佳良工芸館、雪の美術館を見学した。プログラムは、以下のようでした。

平成16年度日本家政学会色彩・意匠学部会総会、

第26回夏季セミナー

期日 平成16年8月26日(木)、27日(金)

場所 26日：北海道旭川グランドホテル

27日：北海道伝統美術工芸村(国際染織美術館、優佳良工芸館、雪の美術館)

〈第1日目 8月26日(木) 旭川グランドホテル〉

12:00～13:00 役員会

12:30～13:30 受付

13:30～17:00 講演ならびに総会

13:30～14:30

講演1 北の街「旭川」の都市景観に見る色彩について

講演者：北海道教育大学旭川校 八重樫良二教授

14:30～14:50 コーヒータイム

14:50～15:50

講演2 被服における色彩・意匠学的私の研究

講演者：椋山女学園大学 加藤雪枝教授

15:50～16:00 休憩

16:00～17:00 日本家政学会色彩・意匠学部会総会

17:30～19:30 研究・情報交換会

〈第2日目 8月27日(金) 北海道伝統美術工芸村〉

9:30～ バスで北海道伝統美術工芸村へ

10:00～12:00 北海道伝統美術工芸村(国際染織美術館、優佳良工芸館、雪の美術館)での見学・勉強会

12:00～13:00 雪の美術館内 昼食

13:00 解散

〔講演内容〕

講演1 『北の街「旭川」の都市景観に見る色彩について』

北海道教育大学旭川校教授 八重樫良二

講演内容要約(講演者の記述から)

北海道の街は皆、同様であるが本州の街並みに比べて歴史が浅く、その形成に伝統的な要因はあまり感じられない。旭川市においてもわずかに残るレンガ倉庫や石蔵など、古くからの建築物が時の経過を知らせるのみである。中心市街地の戦後復興から近年の宅地開発に至るまで、その景観の大部はおよそ半世紀程の間に形成されている。とは言え、わずかな時の経過ではあるが、住宅性能の進歩と共にその素材、色使いは変化している。一般住宅についての色使いを概括するなら、昔に比べあまり人工的な色使いを感じさせない色の使い方が好まれる傾向にある。それにも関わらず旭川ではとりわけ賃貸住宅にカラフルな色が用いられている印象があり、住宅地の中の色使いとしては特徴的にも思える。そこには北国ならではの風土、自然の影響があるものと考えている。

住宅の色をはじめ、看板や橋など旭川の都市景観に見られる色彩に着目しながら、その成り立ちと景観に及ぼす影響について探りたい。旭川市は1997年に都市景観整備の一貫として「カラーガイド・旭川」を設けて、望ましい住宅のカラープランニングについての指針を示している。街並みに見る色使いを紹介すると共にこうした

景観形成に係わる市の行政活動を話題に取りあげ、これからの街並みの姿について考えてみたい。

講演2 『被服における色彩・意匠学的私の研究』

椋山女学園大学教授 加藤雪枝

講演内容要約（講演者の記述から）

今日まで、被服の形態や色彩をテーマとして研究を進めてきましたが、服飾関係における安定した美的な映像を如何に求めるかが常に課題でありました。カラーシミュレータ、配色シミュレーション装置、アリスミラー、CGなどが開発され、つづいてCGによる3次元的服装表現、動画などシミュレーションソフトウェアが発達、改良され年の経過に伴って自然に、美的な画像の表現が可能となりました。これらを使用して服装のイメージ、錯視効果、配色調和などを心理的に求めてきました。今回は仮想服飾環境ソフトウェアを用いて被服の模様を平面・着装・動画により歩行動作を加え、イメージの相違について比較しました。また、これらの心理的結果を確実なものとするため、生理学的立場から脳波計や心電計によって被服の色彩と配色について調べ、心理的・生理的結果からその関係を明らかにしていきたいと考えています。

講演および総会の後、17時30分からの研究・情報交換会では、講演者への質問が多くあり、活発な会となりました。また27日の北海道伝統美術工芸村での色彩・意匠の見学・勉強会は、雪のイメージをデザインしたホールでのお昼食も含めて好評のうちに終わりました。今年度は、国際および日本家政学会が8月上旬に開催されたこともあり、セミナーへの参加者数を心配し、当初20名の参加者まで近づけたいと努力いたしました。部会員のご協力のお陰で、予想に近い17名の参加者を得ましたこと、また、会場となった旭川一の豪華な内装デザインの部屋を備えたホテル側が、役員会、講演および総会、研究情報交換会と3つの会場を朝から用意してくださったこと、工芸村では各会館とも、それぞれ専門の学芸員が待っていてくださり、詳しい解説をしていただき、その内容は、研究、授業に参考になったこと等、外部の方たちのご協力もあったからこそですが、有意義なセミナーとなり、しかも楽しく終わらせていただけましたこと感謝いたします。

（実行委員長 齋藤祥子 記）

色彩・意匠学部会規程

第1章 総則

第1条 この部会は色彩・意匠学部会と称する。

第2条 この会は、(社)日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 この会はその目的を達成するために次の事業

を行なう。

- 1) 研究会
- 2) 研究発表会・討論会
- 3) 講習会（セミナー）
- 4) 研修・見学会
- 5) 成果の印刷物配布
- 6) その他の必要とする事業

第4条 この事業の年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わりとする。

第3章 会員

第5条 この会は(社)日本家政学会の会員をもって構成する。

第4章 役員

第6条 この会の運営を円滑にするため次の役員をおく。

部会長	1名	(付1)
副部会長	2名	
監事	2名	
常任委員	若干名	

第7条 役員の職務は互選によって定め、総会の承認を得る。

第8条 役員の任期は2年とする。ただし再選をさまたげない。

第5章 会費

第9条 本会の会費は年額千円とする。

付則

この規程は昭和53年4月1日より施行する。

この規程は昭和58年8月26日より改定施行する。

この規程は平成元年8月22日より改定施行する。

この規程は平成15年8月28日より改定施行する。

申し合わせ事項

1. 役員の職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を担当する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。 (付2)
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。
5. 会報は企画係が計画し、セミナー係・庶務係・会計係が中心に編集する。

(付1):部会長連絡先 〒040-8567 北海道函館市八幡町1-2

北海道教育大学函館校 齋藤祥子

(付2):事務局連絡先 〒151-8523 渋谷区代々木3-22-1

文化女子大学 盛田真千子(戸籍名:勝子)

〈編集後記〉 第一報を皆さまのご協力のもとに発刊できることを深く感謝いたします。色彩・意匠学部会の赤い糸になることを期待し、部会員の益々のご活躍をお祈りしております。ご意見・メッセージをお待ちしております。 (担当:橘,井澤)